

第 27 回 神奈川県がん診療連携協議会 議事録

日 時：令和 3 年 7 月 26 日（月）17：00～18：30

配信会場：神奈川県立がんセンター管理・研究棟 5 階 大会議室

形 式：Zoom システムによるオンライン会議

出席者：別添のとおり

内容：

1. 開会

協議会長より開会の挨拶があり、昭和大学藤が丘病院が地域がん診療連携拠点病院に、藤沢市民病院ががん診療連携拠点（高度型）にそれぞれ登録されたことが報告された。また、今年度より下山田氏が神奈川県がん・疾病対策課長が就任されたことが紹介された。

2. 議題

（1）都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

協議会長より、7月9日に開催された協議会について、以下のとおり報告があった。

- ・がん登録部会から、期限内の集計報告・登録をお願いしたいこと、中級認定者の認定更新等の手続きに留意すること、集計データが閲覧可能になっているのでご利用いただきたいとの話があった。
- ・がん情報相談支援部会より、がんと診断されて間もない患者を対象とした情報提供の資料を作成中との話があった。
- ・「がんと共生」のあり方検討会で、緩和ケアに関わる部会を新たに設置し、苦痛のスクリーニングの検討や緩和ケアに関する実地調査を計画しているとの話があった。
- ・「がん診療連携拠点病院の実態と指定要件に関するアンケート」について中間報告があった。

（2）各部会からの報告

①相談支援部会長より、以下のとおり報告があった。

- ・6月1日に部会を開催し、湘南鎌倉総合病院よりがん相談支援センターの活動についてプレゼンいただいた。
- ・「神奈川県がん相談員の PDCA 評価の視点について」というテーマでディスカッション中心の研修会を実施した。

②がん登録部会長より、以下のとおり報告があった。

- ・がん登録部会を、6月24日に開催した。全国がん登録より、Windows7の使用が不可になったといふことで、使用中の施設は早急に対応いただきたい。
- ・2019年の全国集計の結果のまとめが国立がんセンターから発表されれば、お示しできると思う。
- ・がん登録に係るがん診療連携拠点病院のデータがホームページ上で見るのが可能なため、活用いただきたい。

③緩和ケア部会長より、以下のとおり報告があった。

- ・今年度の部会について、従来とは違う形で PDCA を進める方法を考えている。具体的には、県全体の目標設定を行い、その目標に近づくための評価項目を作成中。その前段として、アンケートを実施したが、緩和ケアチームの運営の難しさについての回答が目立った。

④地域連携クリティカルパス部会長より、以下のとおり報告があった。

- ・昨年度は、部会を開催しなかった。今年度は2回開催する予定。
- ・日々の新型コロナウイルスを含む診療の中で、がんパスが埋没しているという現状があると思うので、一度状況を把握し、新たな活動をしていきたいと考えている。

④がん薬物療法部会長より、以下のとおり報告があった。

- ・昨年度は、「がん薬物療法のケアレビュー」について、新型コロナウイルスの影響で、実施できなかった。
- ・3月23日に部会を開催した。内容としては、新型コロナウイルス流行下における薬物療法についてアンケートを取り、集計結果を共有した。
- ・部会後に事後アンケートを実施し、コロナ禍における施設の情報を共有したいというニーズが半数ぐらいの施設からあった。9月頃に、各施設の事情や問題点も含めて、共有していければと思う。

(3) その他

協議会長より、PDCA サイクル部会について、次回の会議で報告するとの話があった。

3. その他

県がん・疾病対策課より、以下のとおり連絡事項が伝えられた。

- ・妊孕性事業について、KanaOF - Net に参加いただき、ポスターや冊子を活用しながらがんの妊孕性の周知についてご協力いただきたい。
- ・がん診療連携拠点病院の指定要件については、現況報告に係る連絡が厚労省からきた段階で情報共有する。

神奈川県医師会笹生理事と神奈川県歯科医師会大持常任理事より挨拶があり、新型コロナウイルスによるがんの影響と周術期の口腔管理の連携についてそれぞれ確認された。

その他、横浜市民病院より妊孕性温存についての院内での周知について質問があった。これについて、協議会長から KanaOF - Net で情報交換を考えおり、ディスカッションする機会があると思うので、ぜひ多くの施設の参加をお願いしたいとのアナウンスがあった。

4. 閉会

協議会長より閉会の挨拶があり、次回は令和4年3月7日（月）に予定していることの説明があった。